

開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

## 周産期死亡低減を目指したモバイル型SNS連動胎児モニターの開発（タンザニア）

メロディ・インターナショナル株式会社 代表取締役 尾形 優子

クラス分類：クラス2（日本ではクラスII）

（研究期間：令和4年度～令和6年度）

|       |   |
|-------|---|
| 研究目標  | <ul style="list-style-type: none"><li>タンザニアの周産期死亡率が高いのはなぜか？日本の周産期医療の技術（胎児モニタを含む）でそれが解決するのか？タンザニアの医療従事者へのインタビューや医療現場の観察、妊産婦等へのインタビューを通して、真のニーズを発掘し、そのニーズを定性的、定量的に把握し、周産期死亡低減の解決策を探る。</li></ul>   |
| 研究成果  | <ul style="list-style-type: none"><li>分娩時は妊婦の病院滞在時間が短くモバイル胎児モニターの効果が得られなかった。</li><li>妊婦健診時では、モバイル胎児モニターによりリスク因子をいち早く検知し、安全な出産へ向けた指導、助言が実現した。</li><li>多くの母親が、出産直前に病院へ駆込むことが多いのでそれを改善することが重要。</li><li>【結論】健診時にモバイル胎児モニターと教育アプリを連携することにより健診を担う助産師の医療支援と教育による中長期的なアプローチをモバイルクリニックにより能動的に行う機会を提供することが効果を上げるという知見を得た。</li></ul> |
| 今後の展望 | <ul style="list-style-type: none"><li>分娩時のモバイル胎児モニターの活用よりも、妊婦健診での利活用が現実的である。そのため助産師の役割を中心とした、ニーズステートメントを掘り下げることが重要。</li><li>アフリカ周辺国へのアプローチの仕方として提言。</li><li>保健省との連携、JICAや大使館、国連への提案が重要。</li><li>TMDAなど規制局との交渉が重要。<br/>⇒周産期死亡の低減を目指す</li></ul>   |

【メロディ・インターナショナル】  
モバイル胎児モニター  
いつでもどこでも  
胎児モニタリングが可能に！

【広大新福研究室】  
学術に基づく実証実験  
看護・助産の視点からタンザニアにおける妊婦健診の改善のため、母子保健研究を続ける

【キャスター】  
母親+助産師向けアプリ  
電子母子手帳機能と助産師の電子カルテ機能を持つアプリを開発

モバイルクリニック

モバイル胎児モニター (iCTG)

母+助産師アプリ Taarifa za Mama

紹介搬送

各地へ訪問

移動助産所

## 開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

# 周産期死亡低減を目指したモバイル型SNS連動胎児モニターの開発（タンザニア）

メロディ・インターナショナル株式会社 代表取締役 尾形 優子

（研究期間：令和4年度～令和6年度）

### 研究目標

- タンザニアの周産期死亡率が高いのはなぜか？日本の周産期医療の技術（胎児モニタを含む）でそれが解決するのか？タンザニアの医療従事者へのインタビューや医療現場の観察、妊産婦等へのインタビューを通して、真のニーズを発掘し、そのニーズを定性的、定量的に把握し、周産期死亡低減の解決策を探る。

### 研究成果

- タンザニアでは、妊婦健診に携わる医療従事者のほとんどが分娩監視装置を認知しておらず、胎児モニタリングの必要性を感じている医師等は限られている。
- プロトタイプでの実証を行うために事前に現地の医療従事者へ研修を実施した。それによって、妊婦検診での運用が可能となった。
- また、MCでの妊婦検診に妊婦が来るためにアプリの新機能を追加した。

### 今後の展望

- 引き続き、移動式健診車での妊婦検診で妊娠・出産がハイリスクとなる人々の抽出と教育の提供を行う。
- 胎児の死亡率を下げるために今後は、分娩時に胎児モニタリングを行う。
- 令和6年度に医療機器承認を取得  
⇒周産期死亡の低減を目指す



開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

□□□□□□□□□ (研究課題名) (△△△(国名))

○○株式会社○○事業部 ○○ ○○ (代表者のお名前)

(研究期間: 令和〇〇年度～令和〇〇年度)

研究目標

■ Text

研究の目標について、特に、  
どのような公衆衛生上のニーズに  
いつまでに対応しようとしているのか。  
ご記入ください

研究成果

■ Text

■ ...

研究成果、現状、課題について、  
可能な範囲で  
ご記入ください

■ Text

■ ...

製品や研究課題の概要がわかる  
写真や図を挿入ください

今後の  
展望

■ Text

■ 今後の展望、特に薬事申請や上市  
のタイミングなどについて、可能な  
範囲でご記入ください

全て、外部に公表して差し支えない範囲で記載してください